

かめやま教育通信

第69回



児童・生徒一人ひとりの学力や学習状況に応じた学習指導の改善・充実に向けて

4月19日に、小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施され、小学校では国語、算数、理科、中学校では国語、数学、理科に関する調査のほか、児童・生徒の学習状況等をとらえるための質問紙調査も行われました。

国語、算数・数学、理科の平均正答率

【平均正答率】

(単位：%)

小学校の国語では、県の平均正答率を上回りました。それ以外の教科については、全国・県の平均正答率を下回りました。また、次のように、本市の子どもの優れている点と課題が分かりました。

	小学校6年生			中学校3年生		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
亀山市	65.2	61.3	62.2	66.3	47.1	45.9
三重県	64.5	62.2	62.6	68.2	51.9	48.1
全国	65.6	63.2	63.3	69.0	51.4	49.3

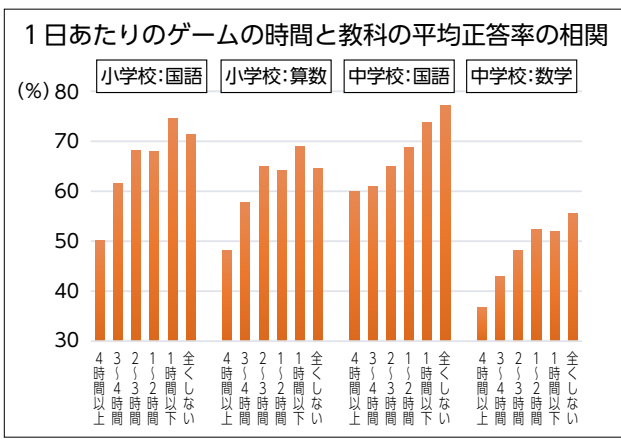
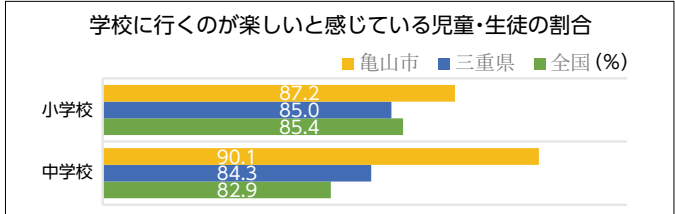
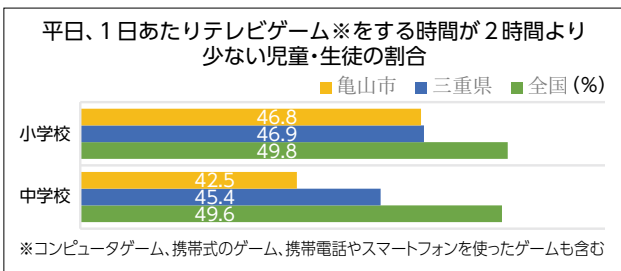
【小学校】

	優れている点	課題
国語	登場人物の相互関係について描写を基に捉えること	互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめること
算数	百分率で表された割合を分数で表すこと	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めること
理科	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述すること	観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつこと

【中学校】

	優れている点	課題
国語	事象や行為、心情を表す語句について理解すること	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと
数学	自然数を素数の積で表すこと	一次関数の変化の割合の意味を理解していること
理科	身近な動物の観察結果と調べた内容を、体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかをみること	モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみること

児童・生徒の学習習慣、生活習慣等



「地域の行事に参加している児童・生徒」や「学校に行くのが楽しいと感じている児童・生徒」の割合が全国平均と比べて高くなっています。「休日、1日あたり60分以上勉強をする児童・生徒」や「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している児童・生徒」の割合が全国平均と比べて低くなっています。

左のグラフは、1日あたりのゲームの時間と教科の平均正答率の相関関係を表しています。テレビゲームをする時間が短い児童・生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。また、生活習慣と学力向上には強い相関関係があると言えます。

この調査で把握できる学力や学習状況は一部ですが、調査結果から児童・生徒一人ひとりの学習における課題を把握し、学習の理解と定着を図ることができるよう、教職員の授業力向上に力を入れて取り組みます。また、引き続き、家庭学習や生活習慣の見直しの啓発を行います。